



菩提寺山(金津)

菩提寺山は新津市で一番高い山で、標高は248mです。金津の白玉の滝手前から左側に入り、山頂までは徒歩で40分くらいかかります。途中には、へそ清水や一夜堀りなどの名跡もあります。

山頂からの眺めは素晴らしく、五頭連峰を中心に広がる大パノラマは、一見の価値があります。登山道が整備されていないのがちょっと残念ですが、秋葉山が新津市で一番高い山だと思っていた皆さん、話のタネに出かけてみてはいかがでしょうか。

紹介者 吉井教さん (山谷町3)

\*へそ清水…岩の真ん中あたりから湧き出ている清水。観音様のお告げでこれを飲み、腹痛が直ったという昔話があります。  
\*一夜堀り…昔、金津村と橋田村では山の境界争いが絶えませんでした。そのため川が村境と決めたところ、橋田の村人が一晩で堀をつくったといわれています。



篤志に感謝します  
 ◇教育振興基金に 匿名希望 500万円  
 ◇社会福祉事業に 西山新次郎さん(善道町2) 10万円  
 ◇老人福祉事業に 匿名希望 33回目:1000万円  
 ◇社会希望(223回目):2000円  
 ◇児童福祉事業に ベルサイユ(本町2):1361円

造園建設業協会が花を寄贈\*  
 さきごころ、新津市造園建設業協会の皆さんが、市役所に花のプランターを寄贈してくれました。このプランターは、市役所正面玄関前に置いてあります。ぜひ、ご覧ください。(写真上)

◇身障者福祉事業に 匿名希望 34回目:1000万円  
 ◇交通遺児救済金に 匿名希望 1000円  
 ◇市内の幼稚園、保育所に (株)日園:チュウリップ球根 32箱  
 ◇社会福祉協議会に 加藤さん:6000円 川崎三郎さん(秋葉2):3万円  
 ◇地域づくり事業に 新津市建設業協同組合:8万円  
 ◇地域づくり事業、社会福祉事業に 新津建友会:12万5780円

## ふるさと再発見



③

私たち新津に住む者は、桂家や坂口家、また桂湖村や坂口東峨についてどれほどの資料を調査に求めました。私たちが新津に住む者は、桂家や坂口家、また桂湖村や坂口東峨についてどれほどの資料を調査に求めました。

## 江戸時代の学芸

先年、早稲田大学の村山吉廣教授が、江戸の大儒亀田鶴斎が滞在し、早稲田大学教授の桂湖村を生んだ新津の桂家はどんな家かと調査に求めました。また、仙台市の谷沢尚一氏は、幕末東北随一の俳人松窓乙二が旅に病んだ大安寺村はどんなところか、乙二を迎えてその門人になった優れた俳人坂口東峨の資料はないかと調査に求めました。



現在の郵便局付近にあった桂邸

現在使っている文化という言葉は、英語のカルチャー(culture)の訳語ですが、これには人間が理想を実現しようとして生活する、その産物(学問、芸術、道徳、宗教など)という意味があります。当然のことながら、文化の担い手は人間であり、文化には理想の実現という創造性があるのです。

江戸時代の新津の文化は、どうだったのでしょうか。急激な近代化(西洋化)のために埋もれたままになっていないでしょうか。埋もれてよく見えない世界を、近代的な観点から封建的の一括してないで、江戸時代の私たちの先人が何を求めて生活していたのか、私たちにそれを調べる義務のようなものがあります。それが文化の継承ということだと思えます。

—お買物、ご用命は市内で—

**火災・救急データ**

|              |                    |
|--------------|--------------------|
| ◆火災発生件数 2220 | ◆救急車出動件数 914 (842) |
| うち建物火災 610   | 主 交通事故 173 (153)   |
| 焼 損 棟 数 619  | 主 一般負傷 86 (81)     |
| り災世帯数 49     | 急 病 460 (440)      |

10月31日現在( )内は平成2年中  
 火災のお問い合わせは ☎24-5001~5004へ

私は国学・漢学詩文・和歌俳諧の面から江戸時代の新津の文化を考えていますが、資料の散逸がなほだしいのを痛感しています。埋もれたままを、皆さんのご協力を得て発掘したいと思います。今回の歴史講座は中間報告のような形で、新津の文化について考えてみたいと思います。(帆刈喜久男)

動物の診療・予防・検査・諸手術・入院  
 預り・健康管理 (月曜日休診・急患随時)

## ニイッ動物病院

新津市本町2丁目7番21号 ☎22-5976・24-6262  
 (総合結婚式場「一案」より五泉方面へ200m左側)

電化製品で まごころのキャッチボール

皆様との信頼を大切に  
 社名変更し新たな気持ち  
 でスタートします。

暖房器まつり  
 12/7(土)・8(日)

株式会社 ソーワ  
 (旧社名 八重電商事)

アフターを大切にします  
 本町2 ☎24-3131